**小文間の植物シリーズ**

**○藤原信幸**

発表形式　■作品画像　　□制作工程画像　　□作品動画　　□制作工程動画

コメント（200字以内）

私はいつも動物や植物の形の魅力をモチーフに、作品を制作しています。ガラス素材の持つ表現の可能性を考えながら象徴的な形を作る事に関心を持っています。ここ数年は特にホットワークテクニックと、キルンワークテクニックを使って、工房がある取手市小文間（おもんま）に生えている、植物の旺盛な生命力を表現したいと試みています。

作家略歴（6行以内）

1984　　東京藝術大学大学院美術研究科鋳金専攻修了／ピルチャックガラススクール（シアトル）

2005・08・12　「'05　’08’12日本のガラス展」（08藤田喬平賞、観客賞受賞）（12藤田喬平賞）

2008　「2008 新竹市国際瑠璃芸術節」「2010 新竹市国際瑠璃芸術節」（台湾）出品

2009　「第4回KOGANEZAKI・器のかたち・現代ガラス展」黄金崎クリスタルパーク（奨励賞）

2010　「国際ガラス展・金沢2010」金沢・香林坊大和ホール／石川県能登島ガラス美術館（奨励賞）

2014「日本のガラス選抜展　－ガラス表現の多様性－」渋谷東武本店美術ギャラリー

※今回は、モニター画面による発表となります。

※持ち時間は3分間以内です。静止画像の場合は10カット以内とします。